

地域社会との緊密な連携を築こう

－ P T A、地域、学校で子どもの成長を見守る－

岡崎市立大門小学校 P T A

1 学区及び学校の概要

大門学区は、岡崎市の北部に位置しており、徳川家康にゆかりのある大樹寺を隣接している学区であり、静かな住宅地域で、多くの公園がある。本校は、昭和 50 年（1975 年）に開校し、令和 7 年度で 50 年目を迎える。開校当時は、児童数 261 人の学校であったが、大門学区に新しく住む人が増え、令和 6 年度当初は岡崎市内で 3 番目の大規模校となっている。今年度の全校児童数は 810 名、学級数は特別支援学級 6 学級を含んで 32 学級である。

2 研究のねらい

大門学区では、総代会、社会教育委員会が中心となって「明るい町づくり活動」「地域防犯活動」「地域交通安全活動」を推進している。その活動と合わせ、小学校、P T A と協力して行うものもあり、その P T A 活動を積極的に推進することにより、地域と連携し、子どもたちの成長を支えていく体制を整えていきたい。

3 研究の仮説

地域の諸団体（総代会、社会教育委員会等）と連携、協力しながら P T A 活動を実践し、子どもの成長を見守ることができれば、心身ともに健やかな子どもを育てていくことができるであろう。

4 研究の方法

地域と共同で行っている学校の教育活動を基盤として、どのように P T A が関わられるか検討し、その活動を企画したり、実践したりする。

5 研究の実績

（1）登下校見守り活動

現在、登下校ボランティアに参加していただいている学区の方は 13 名、毎朝と下校時に、横断歩道や道路での見守り、付き添いを行っていただいている。交通指導員さんも登校の見守りをしてきている。P T A でも各地区の生活指導員が旗当番表を作成し、会員全員で子どもたちの登校の安全を見守る活動をしている。

また、3 学期には感謝する会を学校行事として行っており、交通指導員さん、登下校ボランティアさんを学校に招き、子どもたちからお礼を伝える会がある。そこでも、P T A を代表し、生活指導委員の委員長からもお礼を伝えている。

（2）交通安全しめ縄広報活動

学区主催の活動で、毎年 12 月に、公道で自動車を運転しているドライバーに交通安全の願いを込めた贈り物を、子どもたちから手渡す活動を行っている。この贈り物は、大門学区がしめ縄の生産地



として有名であるため、そのしめ縄と交通安全を呼びかけるメッセージを添えたものになっている。それを、毎年、4年生の子どもたちが行っている。

この活動は、警察署の協力のもと行われる。学区の南側にある片側3車線の幹線道路を規制し、通行する車を一時停止して、そこで子どもたちが「安全運転お願いします」と言いながら贈り物を渡している。約120人の子どもたちが、道路で活動するため、安全面を考え、たくさんの大人の方の支援で活動できている。総代さんをはじめとした学区の方々、岡崎市役所の方、そしてPTAとしても保健体育委員、PTA学校支援員も、子どもが安全に活動できるように、子どもたちの活動を支援している。

（3）学区防犯パトロール、安全見守り隊

学区の方は、地域防犯、安全な町づくりのため、学区内を青色パトロールカーで警戒すべき場所を中心に回っていただき、犯罪や事故がないよう、子どもたちを見守っていただいている。それに合わせ、PTAでも「安全見守り隊」のネームホルダーを全家庭に配付し、多くの目で防犯活動ができようとしている。犬の散歩や子どもと一緒に公園に行くとき、買い物に行くときなどに、そのホルダーを着用してもらい、PTA会員のみんなで学区内の子どもたちの安全を見守る活動である。以前、PTAでは長期休業中に学区の見回り活動を行っていたが、回数が少なく、限られた人たちだけの活動であった。そのため、この活動を見直し、PTA会員みんなの力で、学区と協力して、子どもの安全を守っていきたいと思い、進めている。



（4）読み聞かせ活動

月に2回程度、子どもたちに向け、絵本の読み聞かせ活動を、PTAサークル「読み聞かせPiPi」が行っている。このサークルには、保護者だけでなく、学区の方も参加していただいている。以前のコロナ禍では、教室内で対面にて行うことを避けて、テレビ放送で全校一斉に行っていた。しかし、今では、各教室で子どもと向き合いながら、対面で実施することができている。子どもたちも絵本の世界に引き込まれ、食い入るように話を聞いている。子どもたちは、朝の会前の少しの時間であるが、とても楽しみにしている。



6 研究の考察

近年、PTAも学校支援として、授業や行事などに参加する機会が増えた。PTAと地域が緊密に協力することで、子どもたちの成長を見守ること、支えることができた。

7 成果と今後の課題

地域の方が、地元の学校を大切にしてくれ、子どもたちの成長を見守ってくれていることを改めて実感できた。一人一人の子どもが成長できるような学校をつくるためには、PTA、地域、学校の3者が相談し、何が自分たちにできるか考えなくてはならない。そのためには、いつでも気軽に相談できる体制づくりが必要であり、そのような機会をつくっていきけるようにしていきたい。